

# Web版 日本近代文学館 ご購入のご案内

<http://japanknowledge.com/library/>

「Web版日本近代文学館」は、従来のパッケージ版（「CD-ROM版太陽」「DVD版文芸倶楽部」「DVD版校友会雑誌」八木書店発売）を、知識探索サイト「ジャパンナレッジLib」（小学館グループネットアドバンス運営）上での閲覧を可能にしたものです。

## コンテンツ料金 (初回契約時のみ)

	本体価格 (税別)	パッケージ版購入者 ご優待価格※1
<b>太陽 (フルセット)</b>	2,400,000円	480,000円
分売① 明治1 (明治28年～明治36年)	800,000円	160,000円
分売② 明治2 (明治37年～大正元年)	800,000円	160,000円
分売③ 大正 (大正2年～昭和3年)	800,000円	160,000円
<b>文芸倶楽部 明治篇 (フルセット)</b>	1,800,000円	360,000円
分売① (明治28年～明治33年)	600,000円	120,000円
分売② (明治34年～明治39年)	600,000円	120,000円
分売③ (明治40年～大正元年)	600,000円	120,000円
<b>校友会雑誌</b>	850,000円	170,000円
<b>滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集</b>	450,000円	90,000円

※1 パッケージ版購入者ご優待価格 CD・DVD版をご購入の方がWeb版に切り替える料金です。

※本サービスは、JKBooksとしてお申し込みが必要となります（ジャパンナレッジLibには含まれておりません）。

※ご購入時に、プラットフォームを①Web版日本近代文学館の単独利用か、②ジャパンナレッジ Libとの統合、のいずれかをご選択ください。

### ①Web版日本近代文学館 単独利用の場合

- 年間システム利用料（毎年）を頂戴致します（コンテンツ料金の2%、税別）。  
太陽フルセット：48,000円・文芸倶楽部フルセット：36,000円・校友会雑誌：17,000円・近代作家原稿集：9,000円
- 同時アクセス数は4です。

### ②ジャパンナレッジ Libとの統合の場合

- 年間システム利用料はかかりません／同時アクセス数はジャパンナレッジ Libに準じます

※ジャパンナレッジLibの会員でないお客様は、登録および初期設定費用として、入会費本体15,000円（税別。初回契約時のみ）と、年間システム利用料を頂戴いたします。詳細はお問い合わせください。

※ご購入時に、書籍版全ページの画像データをDVDメディアでお納めします。

※動作環境については、ジャパンナレッジLibウェブサイトにてご確認ください。

●「滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集」は単体利用のDVD版もご用意しております（450,000円、税別）。

\*DVD版では「太陽」「文芸倶楽部」「校友会雑誌」との串刺し検索はできません。作家名一覧からの閲覧になります。

## 無料トライアルのご案内

まずはトライアル版をお申し込みください。1ヶ月間無料でご利用いただけます。

申込書は以下のサイトからダウンロードいただけます。

- 八木書店ホームページ ..... <http://www.books-yagi.co.jp/pub/>
- ジャパンナレッジLibホームページ ..... <http://japanknowledge.com/library/>

お問い合わせ

**八木書店**

Yagi Bookstore Ltd. Publishing Dept.

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8  
●TEL: 03-3291-2961 ●FAX: 03-3291-6300  
●pub@books-yagi.co.jp ●<http://www.books-yagi.co.jp/>

**NetAdvance**

小学館グループ  
株式会社ネットアドバンス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-30 昭和ビル3F  
●TEL: 03-5213-0872 ●FAX: 03-5213-0876  
●b2b@japanknowledge.com

近代日本研究に必見の雑誌32万頁、直筆原稿2万カットを、6万6千件の  
詳細検索データで自在に操る！  
ジャパンナレッジLib収録コンテンツとの連携でさらに便利に！

Web版

JKBooks  
ジャパンナレッジ電子書籍プラットフォーム

# 日本近代文学館

<http://japanknowledge.com/library/>

## 内容見本

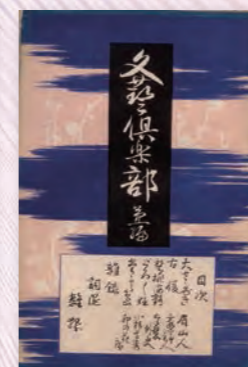


太陽 (20巻1号、大正3年1月)

- 揃えるのが困難な稀少雑誌を2冊以上照合し最善本を撮影、落丁・乱丁のない完全な定本を提供
- 原本の見出しから採った検索データにより、瞬時に目的のページを表示
- 4タイトルの一括検索や、記事単位でのプリント等、充実の閲覧機能



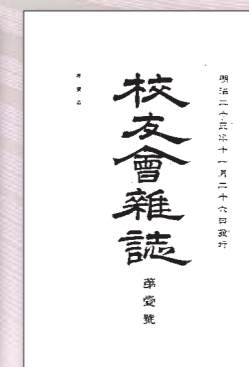
高等国(太陽16巻2号、明治43年1月)



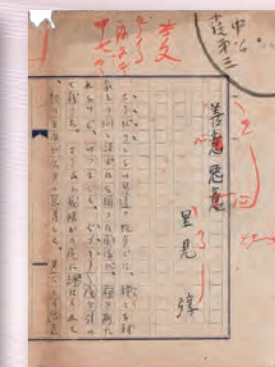
文芸倶楽部 創刊号(明治28年1月)



京都と奈良(文芸倶楽部8巻6号、明治35年4月)



校友会雑誌 創刊号(明治23年11月)



里見弴「善心悪人」原稿

## 太陽

博文館発行・全531冊・17万5000頁・  
明治28年(1895)～昭和3年(1928)

## 文芸倶楽部 明治篇

博文館発行・全284冊  
10万8070頁・  
明治28年(1895)～大正元年(1912)

## 校友会雑誌

第一高等学校校友会発行・全380冊・3万8864頁・  
明治23年(1890)～昭和19年(1944)

## 滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集

全67名・〔原稿〕213作品・〔初出誌面〕209作品

We have put searchable images of all 320,000 pages from the Meiji, Taisho and Showa Era of "Taiyo", "Bungei Kurabu", "Koyukai Zasshi" and "Kindai sakka genkoshu", onto WWW.

編集・刊行：日本近代文学館／製作・発売：八木書店  
配信・運営：NetAdvance

# 刊行の辞

わが国近代文学の、散逸のはなはだしい諸資料・文献を収集・保存する運動が、文壇・学界・マスコミ関係の有志百余名によって発起され、日本近代文学館が創立・発足したのは1962年春でした。以来、文学館では貴重な各種の資料・雑誌を、多くの方々の援助を得て収集するとともに、文芸雑誌複製版、各種「名著複製全集」、『日本近代文学大事典』、各種「資料叢書」などを刊行してまいりました。

ところが近代・現代文学の研究には、最も基本的で欠くことのできない「新潮」「文章世界」「新小説」「太陽」などの主要な諸雑誌は、完全なかたちではなかなか揃っているところがなく、何よりも必要なものとされながら、余りにも規模が大きすぎるなどの困難により、容易に実現しませんでした。1977年、研究検討の結果、八木書

店の協力と、発行元・著作権者の方々の援助を得て、「マイクロ版近代文学館」シリーズの刊行を開始しました。その後このシリーズはCD-ROM版、DVD版へと発展し、さらにこのほど、コンピュータ環境の急速な変化に対応できるよう、このシリーズを「Web版日本近代文学館」として順次刊行してゆくことといたしました。

図書館・大学・研究者から要望の多かった日本近代の最も重要な総合雑誌・文芸雑誌を刊行できることは、たいへん意義深いことであり、また、大きな喜びであります。このシリーズが多くの方々に活用されることを願ってやみません。

関係者各位に深く感謝の意を表します。

2008年1月

財団法人 日本近代文学館

# 簡単な使い方

## ステップ① 検索

検索語を入力し、「検索」ボタンをクリックします。複数のキーワードの入力が可能です。



検索画面

## ステップ② 検索結果表示

太陽・文芸倶楽部・校友会雑誌・近代作家原稿集の4タイトル全6万6350件の書誌データから瞬時に検索結果一覧を表示します。



検索結果表示画面

### 【検索例1】「戯曲」で検索→166件がヒット

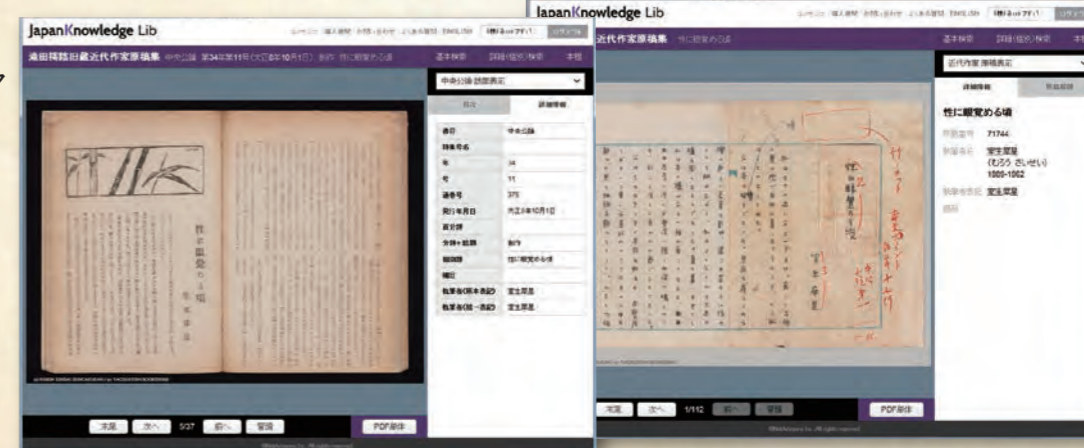
- 太陽 76件、文芸倶楽部 23件、校友会雑誌 53件、近代作家原稿集 14件
- リルケ、森鷗外「戯曲 家常茶飯」(太陽 15巻13号、明治42年10月)
- 渡辺霞亭「夕霧伊左衛門 脚本(\*戯曲)」(文芸倶楽部 4巻1編、明治31年1月)
- 高見順「表現派戯曲及びその紹介に対する蛇足的評言」(校友会雑誌 305号、大正14年12月)

### 【検索例2】「台湾」で検索→431件がヒット

- 太陽 421件、文芸倶楽部 9件、校友会雑誌 1件
- 「商業 台湾の鉄道」(太陽 5号、明治28年5月)
- 「台湾神社鎮座式余興手踊 (\*写真)」(文芸倶楽部 8巻1号、明治35年1月)
- 秋元寿恵夫「台湾といふところ」

## ステップ③ 画像表示・プリント

検索結果一覧からみたい記事をクリックすると、鮮やかなPDF画像が画面表示されます。ページの向き、回転・拡大・縮小ができます。記事単位のプリントアウトを実現しました。



中央公論誌面

近代作家原稿表示

## Web版の特長

### 1 OSに依存しない快適な動作環境\*を実現

Windows、MacintoshなどのOSに依存することのない動作環境を実現。CD・DVDなど従来メディアのような入れ替え・保存管理が不要。迅速・軽快に画像を閲覧できます。\*詳細は、サイト内の動作環境のページにてご確認ください。

### 2 4タイトルをまるごと検索

太陽・文芸倶楽部・校友会雑誌・近代作家原稿集を一度に串刺し検索ができます。同時期に発行した4タイトルを読み比べることができます。

### 3 国史大辞典、日本国語大辞典、新編日本古典文学全集などジャパンレヅジLib収録コンテンツとの連携

ジャパンレヅジLibの多彩なコンテンツと同じプラットフォームで検索(各コンテンツご購入のお客様のみのサービスとなります)。

## コンテンツの特長

### 1 落丁・乱丁のない完全な定本

可能な限り原本を2冊以上照合して最善本を使用して撮影しました。徹底した原本調査により表紙から奥付まで落丁・乱丁のない完全な定本を提供いたします。

### 2 詳細検索データで自在に

太陽・文芸倶楽部・校友会雑誌・近代作家原稿集の4タイトル32万頁にもものぼる膨大な本文画像データに6万6350件の検索書誌データを付しました。検索データは編集委員により原本の目次ではなく本文見出しから採録。正確・有効な索引データを提供いたします。

### 3 記事単位でのプリント機能

複数頁にまたがる記事を1クリックでプリント。資料集めに格好の機能です。

# 太陽 Taiyo

日清戦争から昭和まで、あらゆるジャンルの近代日本研究に不可欠な一大総合雑誌

編集委員：青木稔弥・池内輝雄・井澤恒夫・梅澤宣夫・大野亮司・金子明雄・紅野謙介・佐久間保明・曾根博義・高橋修・竹松良明・吉田司雄・林淑美・和田敦彦

- 発行：博文館
- 発行年月：明治28年（1895）1月～昭和3年（1928）2月
- 総冊数：全34巻531冊
- 総頁：全17万5000頁
- 執筆者総数：約6,500人

当時の主力雑誌を次々と手がけ、日本における総合出版社としての地位を確立した博文館の代表的雑誌。明治27年末、政治・経済関係の雑誌を廃刊し、翌年日清戦争後の社会変化に対応した総合雑誌として創刊された「太陽」は当時のオピニオンリーダーとしての役割を担った。

創刊号は、論説、史伝、地理、小説、雑録、文苑、芸苑、家庭、政治、法律、文学、科学、美術、商業、農業、工業、社会、海外思想、輿論一斑、社交案内、新刊案内、海内彙報、海外彙報、英文の24欄。政治、経済、社会に関する評論に重点を置きながら、諸産業の知識技術普及、芸術や文学、また家庭生活等その対象は広範囲にわたった。執筆も各分野の著名人を網羅した。「中央公論」「改造」に先駆けた、まさに日本初の総合雑誌。



不老長生之研究 (27巻8号、大正10年6月)



日本民族之膨脹 (16巻15号、明治43年11月)



世界不安 (26巻7号、大正9年6月)



近時之婦人問題 (19巻9号、大正2年6月)



アインシュタイン (28巻7号、大正11年6月)



表紙 (創刊号、明治28年1月)



莫都三十年 (4巻9号、明治31年4月)



御大礼盛儀 (21巻8号、大正4年6月)



シカゴ対早慶大学野球 (16巻14号、明治43年11月)



山県有朋 (4編、明治28年4月)



日露戦争 砲撃の様子 (10巻14号、明治37年11月)



日露海戦史 (10巻15号、明治37年11月)

# 文芸倶楽部 明治篇 Bungei Kurabu:Meiji-hen

明治期を代表する文芸誌の全貌を初めて明かす！  
近代文学研究をはじめ、美術・演劇・落語・風俗等、近代日本研究の一級資料

編集委員：青木稔弥・猪狩友一・小平麻衣子・紅野謙介・笹瀬王子・関肇・十川信介・宗像和重・山田俊治・吉田昌志・和田敦彦

- 発行：博文館
- 発行年月：明治28年（1895）1月～大正元年（1912）12月
- 総冊数：全18巻284冊
- 総頁：全10万8070頁
- 執筆者総数：約2,600名

明治28年、それまで発行していた「明治文庫」「春夏秋冬」「世界文庫」「逸話文庫」「文芸共進会」等の雑誌、叢書を統合して発刊。当時の絶大な読者の支持を受けた代表的な文芸雑誌。樋口一葉、泉鏡花、尾崎紅葉、田山花袋、山田美妙など重要人物が多数登場。表紙、木版画口絵を高精細なカラー画像で収録。

## 主な記事

- 1 文芸作品と木版口絵・挿絵**  
「外科室」泉鏡花作・水野年方口絵（木版・カラー）明治28年6月  
「たけくらべ」樋口一葉作／明治29年4月
- 2 芸者・美人**  
「浪華美人 北新地静海楼蓮江／南地富田屋たま他（\*写真版）」明治28年12月  
「台南の美人（\*写真版）」明治37年1月
- 3 肖像（作家・落語家・役者など）**  
「小金井喜美子君／若松賤子君／樋口一葉君（\*写真版）」明治28年12月  
「芝居の内外 團十郎の部屋 大橋乙羽撮影（\*写真版）」明治32年4月  
「二代目市川左團次襲名演劇（\*写真版）」明治39年10月
- 4 各地風景写真**  
「韓国平壤の錦天門と妓爽（\*写真版）」明治39年8月  
「南洋ヂヤバの風景と美人（\*写真版）」明治40年4月
- 5 講談・落語・演劇**  
市川八百蔵「市川八百蔵身上談」明治32年4月  
（伊原）青々園「団菊の逸事（某劇通の談話）」明治36年11月
- 6 世相・流行・風俗・各地名勝**〈「諸国風俗」「諸国名勝」欄〉  
鈴木一三六「千島土人の唄」明治32年2月／無家無住「アイヌの熊祭」明治33年5月  
西村無葉「本阿弥光悦の墓」明治35年10月
- 7 投稿作品**  
森田二十五紘（草平）「仮寝姿」第五回懸賞当選短編小説第一等（\*小説）明治36年7月  
田口掬汀「迷の雲 佳作（\*小説）」明治31年10月



水野年方画 木版極彩色口絵 泉鏡花作「外科室」挿絵（6編、明治28年6月）



講談 大岡裁判 (6巻6編、明治33年4月)



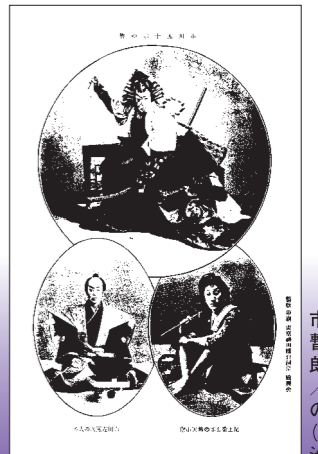
團秀小説 (12編、明治28年12月)



現代第一流の講談落語家 (13巻14号、明治40年10月)



博文館創業25周年祝典余興女優劇 (18巻9号、明治45年6月)



市川團十郎の暫／尾上菊五郎の弁天小僧／市川左團次の大盗 (2巻1編、明治29年1月)

# 校友会雑誌 Koyukai Zasshi

明治から現在まで、各界を主導した人材を輩出した旧制一高の精神世界が、余すところ無く記録された貴重な雑誌。著名人が学生時代に発表した未知の習作・処女作を多数収録。

編集委員：池内輝雄・稲垣眞美・曾根博義・東郷克美・十川信介・中島国彦・中村稔

発行：第一高等学校校友会

発行年月：明治23年（1890）11月～昭和19年（1944）6月

総冊数：全380冊

\*発行全382冊、うち大正12年発行の293号・295号が未発見のため本Web版では未収録

\*改題し「護国会雑誌」全7冊（昭和16年6月～昭和19年6月）

総頁：全3万8864頁

執筆者総数：約2,200名

学術・芸術・実業方面で大成した多くの逸材の青春を記録した貴重な雑誌。

## 主な記事

上田敏「文学に就て」明治23年12月

大町桂月「剣舞を論ず」明治23年12月

安倍能成 他「藤村操君を想ふ」明治36年6月

碧梧桐・虚子・漱石 他「俳句会吟草」明治36年6月

魚住折蘆「自殺論」明治37年5月

大貫晶川「筑波山頂賦（\*詩）」明治39年10月

菊池寛「屠獸場への道（\*短歌）」明治45年4月

恒藤恭「五月の歌（\*詩）」明治45年6月

倉田百三「愛と認識との出発（\*論文）」大正3年1月

林達夫「歌舞伎劇に関するある考察（\*論文）」大正7年3月

村山知義「ある夜の話（\*小説）」大正9年6月

池谷信三郎「『にきび』（\*創作）」大正9年12月

高見順「華やかな劇場（\*小説）」大正15年6月

中島敦「下田の女」昭和2年11月

中村光夫「トーキーの映画的発展」昭和5年5月

森 敦「西の日」昭和7年1月

猪野謙二「春宵」昭和8年5月

福永武彦「かにかくに（\*小説）」昭和11年6月

福永武彦「その昔（\*詩）」昭和11年6月

福永武彦「黄昏行（\*小説）」昭和11年11月

加藤周一「正月（\*小説）」昭和13年2月

## 主な執筆者



谷崎潤一郎



久米正雄



阿部次郎



豊島与志雄



倉田百三



安倍能成



中島敦



神西清



池谷信三郎



中村眞一郎



杉浦明平



上田敏



中村光夫



芹沢光治良



魚住折蘆



堀辰雄



宗左近



大佛次郎



村山知義



高見順



川端康成



柳田国男



立原道造



菊池寛



和辻哲郎



谷川徹三



清岡卓行

# 滝田樗陰 近代作家原稿集 Kindai sakka genkoshu

「中央公論」の伝説の名編集者が手元に残した、きら星の如き原稿群一万枚余を、デジタルアーカイブ化。名作・問題作の生まれる現場を、なまなましく再現。

編集委員：十川信介・中島国彦・紅野謙介

- 全67名の作家の213作品の原稿と「中央公論」初出誌面209作品をフルカラーで画像データベース化（4作品は雑誌未掲載）。
- 「太陽」「文芸倶楽部」「校友会雑誌」などと一緒に串刺し検索が可能（DVD版にはこの機能はありません）。
- 各作家・作品毎に、作家略歴と書誌を中心とした略解題を掲載し、PC上で閲覧。
- 原稿単位でプリントアウトが可能。
- 書き下ろしの解説3篇「滝田樗陰と『中央公論』（曾根博義）」「大正期『中央公論』の小説（池内輝雄）」「大正期『中央公論』の評論・随筆・紀行（中島国彦）とアーカイブに掲載した作家略歴・原稿略解をまとめた冊子を附録。

## 収録作品一覧全67人の全213作品の原稿（10,293カットと初出誌面209作品（2,638カット（見開き））

姉崎嘲風 「人生の改造と弱者の力」「本能性の爆発とその整理」

阿部次郎 「人生批評の原理としての人格主義的見地」「人格主義、戒律主義、主観主義」「私の郊外生活」「旅中小感」

有島武郎 「講演に対する私の希望」

石河幹明 「『瘠我慢の説』に関する徳富君の記事に就て」

伊東忠太 「住宅から見た支那」

稲垣足穂 「友人の実見譚『Taruho et la lune(タルホと月)』【中央公論未掲載】」

宇野浩二 「四人ぐらし」「ヘンリー・フォードのことその他」「四方山」

宇野千代 「墓を発く」「追憶の父」「人間の意念」「薄墨色の憂愁」「赤ん坊」

大町桂月 「日本国民の天職」「借金の記」「筆の山」「杉浦重剛先生」「日本高嶺の高嶺」「断酒より節酒へ」「雪の八甲田山」「駒ヶ嶽より羊蹄山へ」「山嶽の日本」「層雲峡より大雪山へ」「葛温泉龍城記」「陸奥の海岸線」「馬鹿珍伝」

丘浅次郎 「煩悶の時代」「子孫を愁む」

岡栄一郎 「松永弾正」

小川未明 「虚を狙ふ」「死滅する村」「真夜中カークを軋る電車の音」「貸間を探がしたとき」「村の教師」「風に揉れる若木」「死者の満足」「自動車横行に対する階級の実感」「微笑する未来」

荻原井泉水 「海を恋うて（俳句五十章）」「芭蕉翁遺蹟めぐり（校正刷）」

葛西善蔵 「父の葬式」「東北の原野を夜汽車で過ぎる時など」「血を吐く」

片上伸 「リューニンの死」

金子筑水 「哲学と独創」

上司小剣 「金貨【火花屋の気焰】」「寅号金庫」「女犯の血しほ」「高さを競ふ（喜劇）」「女帝の悩み」

川路柳虹 「都会の映像」

菊池寛 「神の如く弱し」「蘭学事始」「流行行」「時勢は移る」「岩見重太郎—An Allegory（戯曲）」「玄宗の心持【玄宗と彼の愛人】」「老嫗茶話【老嫗茶話】」「身辺雑事」「震災余譚（一幕）」「タクシの常客として」「微笑笑」

木村荘八 「字による写生【蛾・品川で見た出来事・接見に行く・橋上より】」「旅順行」「大連にて」「紙上散歩（断片十二景）」「猫」

木村泰賢 「科学と宗教の衝突問題より 原始仏教主義の提唱」

久保田万太郎 「四月尽」「心ご、ろ」「冬と春と」「短夜（一幕）」

久米正雄 「洋画を瞥見して【洋画を一瞥して】」

小杉放庵 「水国雑信」「田端」「唐土雑感」「和歌七十六首」

堺利彦 「此問題の社会的意義」

佐藤一 「皿の話」

佐藤惣之助 「『荒野の娘』の中から」

佐藤春夫 「秋衣の歌」「侘しすぎる【侘びて住む】」「首くぐりの部屋」「一夜の宿」「退屈問答」「都会的恐怖」

里見弴 「善心悪心」「雪の夜話」「縁談裏」

志賀直哉 「雨蛙」

渋川玄耳 「何を恐るるか日本」

島本赤彦 「生々諸相」

白鳥省吾 「畑の花嫁 他五篇」「渓谷の哀愁」「明治神宮参拜」

相馬御風 「愚庵和尚の一生」「北国春信」「炬辺夜話」「人間の弱さと強さ」

高安月郊 「地上の楽園」

田川大吉郎 「米国の態度【中央公論未掲載】」

滝田樗陰 「【馬鹿珍伝】編集附言」

田中玉堂 「知識の時代相・永遠性」



姉崎嘲風



阿部次郎

谷崎潤一郎 「異端者の悲しみ—亡き母の霊にささぐ—」

近松秋江 「京の春」「高野山の御廟」「第二の産産（校正刷りと追加原稿）」

寺田寅彦 「丸善と三越」「自画像」「小さな出来事（大正九年夏）」「厄年とetc.」「田園雑感」「写生紀行」「一つの思考の実験」「雑記（切符の鉄穴ほか）」「雑記（日比谷から鶴見へほか）」

徳田秋聲 「勝敗」「復讐」「宇治の一日」「死の執着【死に瀕して】」「或女の死」「蘇生」「初冬の気分」「お品とお島の立場」「不安のなかに」「耻辱」「未解決のままに」

徳富蘇峰 「還暦を迎ふる—新聞記者の回顧」「日米覚書評論【中央公論未掲載】」

豊島与志雄 「野ざらし」「真夜中から黎明まで」「影」

中沢臨川 「現下の社会的動揺」「全国教育者に寄す」「時事拾得」「技術家の覚醒 独逸的教育」

中島俊雄 「脚本 名匠不忍夜話（壹幕）【中央公論未掲載】」

長田秀雄 「夜の恐怖・暗黒の鬼気」

長田幹彦 「夜半と黎明」

長与善郎 「小母のいたづら」

野上弥生子 「生別」「邯鄲」「一つの家」「澄子」「キリストと祖父と母」

長谷川如是閑 「闘争本能と国家の進化」「支那人の顔其他」「虎から豹へ」「馬」「踏んだり蹴たり」

林癸未夫 「労働政策上の差別観より平等観へ」

日夏歌之介 「山院秋晚図一心の郷土 第二篇—」「月光愁夜」

平塚らいてう 「新婦人協会の請願運動に就いて与謝野晶子氏に御答へします」

広津和郎 「西片町の頃—宇野浩二と僕—」

福田徳三 「勝者は誰か—世界文明の危機と日本の使命—」

富士川游 「性的差異の上より見たる婦人解放問題」

穂積重遠 「銃殺問題から結婚問題へ」

正宗白鳥 「最初の女」「女家主」「移転前」「人さまさま【人生の傍観者】」「監禁」「青年の権利」「亡夫の情人」「生まざりしならば」「他人の災難」「影法師」「さまざま不安」「農村二日の出来事【農村一日の出来事】」

水野広徳 「軍備縮少と国民思想」「打首問答」「戦後の独逸を觀るべく炎熱の海を倫敦まで【平和の海を倫敦まで】」

宮本百合子 「火のついた踵」「顔」

武者小路実篤 「秀吉と曾呂利」「楠正成（五幕悲劇）」

室生犀星 「性に眼覚める頃」「或る少女の死まで」「自叙伝奥書—その聯絡と梗概について—」「結婚者の手記—あるひは【宇宙の一部】」「美しき氷河」「古き毒草園」「香爐を盗む」「まむし」「植物物語」「夏、雑感」「お小姓児太郎ほか二篇」「冬景叢画」「魚になった興義」「童子」「馬守貞」「嘆き」「しやりかうべ」「押し花」「忘春述懐」「川魚の記」

柳沢健 「仏蘭西を中心として」「仏蘭西を中心として（続稿）」「続伊太利遊記【羅馬の十日間】」

山本鼎 「美術季」「胡瓜」「声とことば」「モスクワ景物の偲ひ出」「美術教育」

横山健堂 「長門峡遊記」

若山牧水 「秋」

※〔 〕内は、原稿時の題名。



谷崎潤一郎



寺田寅彦



野上弥生子



正宗白鳥



宮本百合子



室生犀星